

# 牛久：学校周辺に見る自然

第45号 中根小，ひたち野うしく小

2010年11月06日発行

## ＜秋の水辺公園～木の実も楽しみました＞

中根小1年生と、ひたち野うしく小4年生の、水辺公園観察の続きです。今回は、鳥の好きな木の実の紹介。その一部を私たちも味わいました。



まず、**アキグミ（グミ科）**。グミの仲間は、春（～初夏）咲きで秋に葉を落とすグループと、秋咲きで冬でも緑の葉をつけているグループに大きく分けられますが、前者にはナツグミやダイオウグミのように夏に実が熟すものと、このアキグミのように秋に実が熟すものとあります。渋いのもありましたが、全体的に甘いのが多く、夢中で食べていましたね。私が子どもの頃に食べたのはもっと渋かった

ように記憶していますが、欲張ってまだ熟しきってないうちに食べていたのかもしれない。



次に**ヌルデ（ウルシ科）**。敏感な人では樹液でかぶれることもあるようなので、葉などに触れないように気をつけながら、果実の表面にふいた白い粉をなめてみました。「しょっぱいけど酸っぱくておいしい」と気にいった子もいましたね。鳥もこれをなめて塩分補給をしているそうです。「調味料に使えないかなあ」という子もいましたが、実際、これを水に溶かして利用したこともあったと聞きます。調べたら、

リンゴ酸カルシウムという物質なのだそうです。

その他、人は食べないけれど鳥は好きな実で**コムラサキ（クマツツラ科：上左）**、**コブシ（モクレン科：上右）**、**ゴンズイ（ミツバウツギ科：下左）**、**エゴノキ（エゴノキ科：下中）**がみられました。帰り道の街路樹には、たくさんの実を付けて紅葉が始まっている**ナンキンハゼ（トウダイグサ科：下右）**もみられました。ただし木の実には、おいしそうに見えても



鳥などが食べていても、人にとっては毒となるものもありますから、口に入れるのは木の実に詳しい大人といっしょに確認してからにしましょう。  
【理科支援員・宮内】

